



# 組織で支える「絆づくり」と「居場所づくり」 一人ひとりを大切にするために

西部教育局  
お役立ち情報  
令和3年5月号

## 参考



西部教育局作成リーフレット  
教師として大切にしたいこと  
～子どもを伸ばす先生～

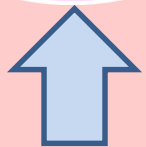
一人一人を大切にしたい学級にするために、  
「みる・きく・認める」の必要性を再確認しましょう。

## みる

### 子供に安心感を与え、力を高める第一歩



挑戦する力



- ◆自分のことをいつもみている。
- ◆自分に関心をもってくれる。
- ◆自分の変化に気付いてくれる。

見守られている  
という安心感

一人一人の表情や行動、  
また安心して力を発揮できる  
集団であるかどうかを、しっか  
りと見ることが大切です。

細かな変化を感じたら、**すぐ**  
に話をきいたり、**教職員で**  
**情報共有**をしたりしましょう。

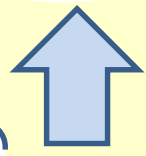


## きく

### 子供との関係性を築く第一歩



信頼関係



- ◆最後まで話をきいてくれる。
- ◆共感してもらえる。
- ◆結論を急がずにじっくりと待ってくれる。

受けとめて  
もらえる安心感

子供たちは最後まで話をきい  
てもらい、共感してもらえると、  
自分の存在を「受けとめてもらえ  
た」「大切にしてもらえた」と感じ  
ることができます。

全ての子供の気持ちを、**一つ**  
**一つ丁寧に受け取る**ことが大切  
です。

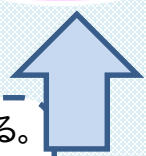


## 認める

### 子供の意欲を育てる第一歩



次の行動へ  
向かう意欲



- ◆「自分のよさ」を見付けたり、引き出したりしてくれる。
- ◆成長や変容、がんばっているところをほめてくれる。
- ◆周りとはべずに、ありのままを受け入れてくれる。
- ◆みんなのために取り組んだことに感謝をもらえる。

自己有用感  
自己肯定感

先生自身の言葉で、何がど  
うよかったのかを具体的に伝  
えてもらうことで、子供は自分  
のよさを実感することができます。

中には、努力がなかなか結  
果に結びつかない子供もいま  
す。結果だけではなく、**過程や**  
**変容にも注目**することが大切  
です。



「みる・きく・認める」それぞれの視点やポイントを、  
右のお役立ち情報でもお伝えしています。  
ぜひ併せて御活用ください。



令和2年度 9月号  
「すべての子供が安心できる  
2学期にするために」